

令和7年度 富士見館地域連携推進会議議事録

1 日 時 令和8年1月22日(木) 13時00分から

2 場 所 気晴館 食堂リビング(犬山市字裏山30番地)

3 出席者

- (1)出席した構成員 利用者代表、利用者の家族代表
社会福祉法人犬山市社会福祉協議会障がい者地域相談支援センター
相談専門支援員、犬山市健康福祉部障害者支援課職員
池野地区主任児童委員
社会福祉法人まみずの里統括・富士見館管理者・事務長・事務員
計9名
- (2)欠席した構成員 なし

4 議事の経過の要領

(1)開会あいさつ

富士見館管理者より、本会議の趣旨について説明した。

(2)出席者の紹介

出席者全員による自己紹介を行った。

(3)社会福祉法人まみずの里の概要説明

富士見館管理者は、犬山市心身障害児(者)父母の会を中心とした方々による、子供たちが見知った景色の中で生活していけるよう、犬山に入所施設を創る活動から始まった社会福祉法人まみずの里の設立経緯と、法人設立からこれまでの、まみずの里後援会をはじめとする多くの方々がまみずの里を支援し、協力するために続けてきた活動について説明した。また、入所支援施設水平館整備後は、日中活動や働く場所を創るために、現在運営するひびき作業所やきりり作業所を整備していったこと、入所施設での生活から地域の中で生活できるよう、現在5軒の家屋で運営するグループホームを整備してきた法人の沿革について説明した。

また、まみずの里の支援体系について、まみずの里が運営する入所施設、通所施設の機能や各事業所が連携をとって支援していることを説明した。

(4)富士見館の概要説明

富士見館管理者は、富士見館の事業所としての沿革、現在運営する3軒の共同生活住居の機能などの特徴、職員の配置状況、利用者現況と日常生活の様子について説明した。また、利用者の1日の流れについて、平日、休日それぞれの日課や余暇の過ごし方について説明した。また、入居者の就労状況について、ひびき作業所、きりり作業所での作業の様子を説明した。

富士見館での普段の生活の様子や、年間行事やこれまで実施した外出行事・旅行について、目的や利用者の様子、保護者も参加して行ったこと等について説明した。

(5) 質疑応答

統括:「利用者の家族代表さんはまみずの里の設立からの活動についてはご存じですね」

利用者の家族代表:「犬山には、(障害を有する方たちが)安心して過ごせる居場所が無かったと思います。当時の保護者さんたちが一生懸命活動している姿を見てきました。」

利用者の家族代表:「作業では八幡ねじから依頼をもらっているのもあるそうで、姉(利用者)も仕事がある方がやりがいがあると言っています。」

統括:「利用者の作業(仕事)は、法人の役員さんからの紹介で始まることが多くあります。」

利用者の家族代表:「まみずの里の施設や行っているサービスは、父母やまわりの方からの声、必要だということから、組織ができあがってきたと思います。相談できているということを感じています。」

統括:「いぶきも、設置当時は制度としてはありませんでしたが、保護者さんたちからの私たちの子供たちのことも知って欲しいとの強い要望から、心身障害を併せ持つ利用者の日中活動の場を創ることがはじまりました。」

統括:「利用者代表さんは、どうしてグループホーム入居しようと思ったのですか。」

利用者代表:「親が生きているうちに入りたいかった。あと、知っている職員がいるときに入りたいかった。」

統括:「富士見館での生活はどうか。」

利用者代表:「ホームの生活は楽しい。みんなも手伝ってくれている。」

統括:「利用者代表さんは、自分ができないことについて障害を理由にしません。すごいところです。(四肢麻痺がある)利用者代表さんは仕事に行く前の準備に時間がかかるため、毎朝5時に起床して時間に間に合うよう準備しています。利用者代表さんの姿勢はグループホームの皆さんのモデルになります。私たちの先生と思っています。」

統括:「利用者の家族代表さん、お姉さん(利用者)の様子はどうですか。」

利用者の家族代表:「みんなに手伝ってもらって生活していると思います。姉と他の富士見館入居者の方との会話を聞いていると、同じリズムで話していると感じることがあります(私たちとは違うリズムで)。同じリズムの入居者さんとみんなで工夫しながらやっているのを見て嬉しく感じています。家にいれば、周りにやってもらえばっかりになると思いますが、グループホームにいれば、困ったことは周りをお願いして助けてもらったり、工夫したりして過ごしていると思います。私は100パーセントできなくても、60パーセントできれば、その中で工夫して生活することが良いことだなと思っています。」

統括:「利用者の家族代表さんのお母さんからは、以前、親が元気なうちに子供がグループホームで生活することを私から勧められたことについて、(どうして勧められるか)その意味がわからなかったけど、実際に子供がグループホームで他人の中で生活するようになった姿をみたら、その意味がわかったといってみえました。」

統括:「他に伝えたいことなどありますか。」

利用者の家族代表:「姉がトースターから煙が出てくることを気にしていました。」

富士見館管理者:「トースター内のパンくずを入居者の皆さんと掃除するようにします。」